

平成29年度 志真志小学校の取り組み

1 研究主題

主体的に学ぶ意欲を育てる学習指導の工夫

～聞くこと・話すことの体験活動を通したコミュニケーション能力の育成を目指して～

2 研究主題設定の理由

小学校学習指導要領の外国語活動では、小学校段階での音声言語による聞くこと話すことを中心としたコミュニケーション能力の重要性があげられている。これらは中高の英語科でのコミュニケーション能力育成の素地となる。そこで、子どもたちが、積極的に相手の伝えたいことを聞き理解しようとする態度や自分の伝えたいことを話すという体験活動を通して、「生きる力」の育成及び国際化の時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育成し、主体的に学ぶ意欲が育つのではないかと考え、本テーマを設定した。

3 研究内容

(1) 目標

- 英語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
- 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- 英語を通じて、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

(2) 指導方針

- 授業開始のグリーティングをその日のクラスリーダーが前に行う。グリーティングでは、挨拶・天気・曜日・日時や学習ルールを確認する。
- 給食時間に、授業で学習した英語音楽を放送する。
- 毎時間のめあての確認や授業のふりかえりは、担任がしっかりと行う。

(3) 年間研究計画

	活 動 内 容
4月	・今年度のテーマ、教科の確認 ・英語学習の授業の確認（クラスルームイングリッシュ、ルールの確認、学習の流れ、HRT・ALT・JTEの役割確認） ・英語学習スタート時間割、ミーティング時間の確認 ・英語学習についての校内研修
10月	・運動会閉会式の全児童による英語ストレッチ体操の練習・実施
12月	・児童英検 6学年（シルバー）5学年（ブロンズ） ・小学校英会話形成的評価（1～4学年）
1月	・研究のまとめ
2月	・次年度へ向けて

(4) 英語活動実践の様子

① 第1学年の取り組み

1年生は、ICTを活用した場面を好み、ビデオを喜んで見たり、フラッシュカードに意欲的に答えたりした。そして、歌やダンス、ゲームを通して、曜日や天気、動物や果物などの身近な英語表現に触れ、親しむことができた。また、季節の行事としてハロウィーンで自分だけのモンスターを作ったりクリスマスの文化に触れたりした。またそれらに関する言葉や表現に親しみ、英語を使ったコミュニケーションに慣れ親しむことができた。運動会の整理体操では、「Run, Jump」など動きを言葉と体を動かして覚え、運動会で元気よく動くことができた。



Tuesday!!



ポインティングゲーム

It's Thursday!

体を動かしながら、曜日を覚えました。



ハロウィン!!
ボディーパーツを聞き取って
自分だけのモンスターを作ろう。

I'm fine!



How are you?

自己紹介をしてじゃんけん列車!
英語での自己紹介に挑戦しました。

② 第2学年の取り組み

2年生は「あいさつ、曜日、天気、数、形、色、体」などの身近な内容を取り上げ、友達とのコミュニケーションを楽しみながら英語に慣れ親しむことができた。

「好きな動物をたずねよう」では、ゲームやインタビューを通して「What animal do you like?」の質問にほとんどの児童がこたえられるようになり、見学で訪れた動物園では、英語で動物の名前を言う合う姿が見られた。

「家族を紹介しよう」では、歌やチャンツで表現に慣れ、自分の家族を友達に紹介できるようになった。



③ 第3学年の取り組み

毎時間、あいさつやルール確認の後に「〇〇リレー」と題して、曜日や日付などのグリーティングで使う会話表現を練習することで、日直になった時にスムーズに始めることができ、自信をつけることができた。また、形成評価でも成果がみられた。

ALT・JTEが楽しい歌やダンスなどを用意してくれるので、楽しんで学習することができた。休み時間などにも口ずさむ姿も見られ、外国語に親しんでいることがわかる。

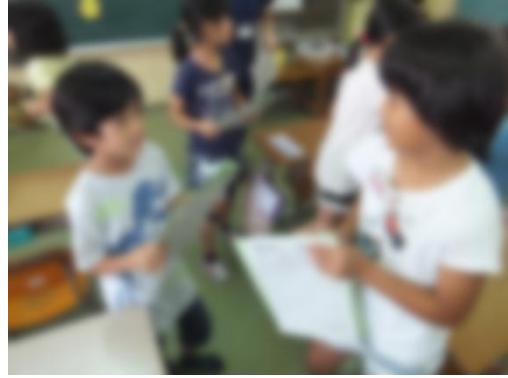


『〇〇リレー』

毎時間、グリーティングの後は『〇〇リレー』！友だちと質問したり、答えたりして、楽しく英語に親しんでいます。



単元の始めには、楽しんでインプットできるように、カルタやタッチアンドゴーゲームなどでALT・JTEの発音を聞く活動を多く取り入れました。

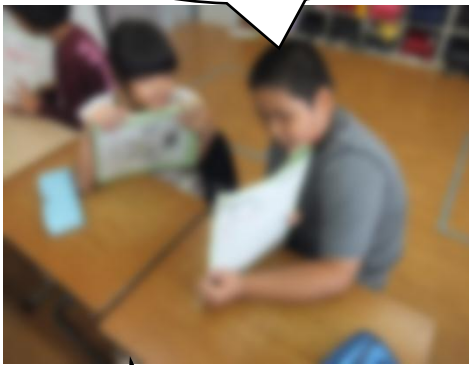


最終段階としてインタビューゲームをしました。

“What food do you like?” “I like sushi!”

④第4学年の取り組み

I like ~, ~ and ~.



What subject do
you like?



⑤ 第5学年の取り組み

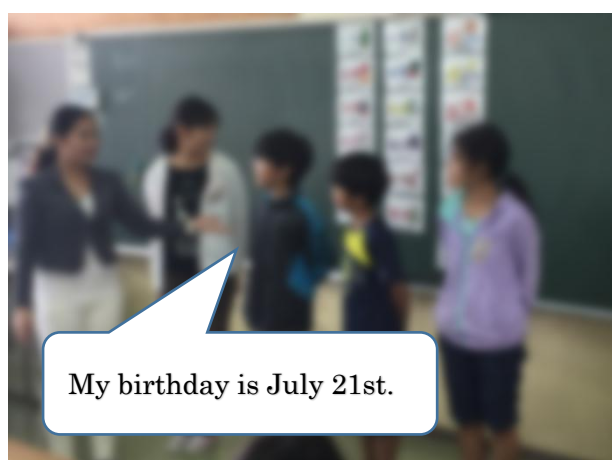
5年生は、毎回挨拶・天気・曜日・日時や6つの学習ルールを、クラスリーダーと確認しながら授業を開始している。「あなたの好きな物はどっち？」や「いろいろな物や様子を表す表現（反対語）」等学習した単語やフレーズを使って作った問題で、クイズ大会を行った。また、「調理実習（ゆで野菜・ご飯とみそ汁）や離島体験など、他の教科で学習した内容や学年行事と関連させながら、学習した英語を活用する場を設けることで、友達と関わり合い、楽しみながら学習している。

児童英検に向けて、ヒアリングができるように、聞き取り練習を行い、簡単な質問に答えられるようになった。



⑥ 第6学年の取り組み

授業開始時のグリーティングでは、クラスリーダーを中心に、挨拶・天気・曜日・日時や6つの学習ルールを確認している。6年生は、歌、スキット、Show & Tell、体験的活動を通して、英語表現活動に慣れ親しみ、実用的な会話を使えるような場面を多く設定した。『友達を旅行にさそおう』では、自分用のパスポートを作成し、英語で入国審査体験活動ができた。知らない土地の情報を共有できたことで、英語活動や異文化への興味・関心が高まった。また、『友達を紹介しよう』では、個性の言い方を知り、お互いにインタビューをしながら英語表現に親しめた。ALT・JTEが前期・後期で担当の学年を入れ替えることで、学級の児童、担任が、ALT・JTEと関わる事ができた。



4. 成果と課題・対応策

<成果>

- 歌やゲーム、チャンツを通して英語の正しいリズムやアクセントに気づき、発話することができた。
- 簡単なあいさつや「動物」「家族」について、英語で尋ねたり、答えたりすることができた。
- 英語への興味関心が高まり、授業以外の場面で学習した英語表現を使う姿が見られた。
- ALTやJTEの話す英語を、理解しようとする姿勢で話を聞いたり、指示に従って動いたりすることが出来るようになってきた。
- フォニックスに興味を持って練習する姿がみられた。
- 学習したフレーズをゲームで活用することから、しっかり覚えようと意識する子が増えた。
- 授業外で既習の英語表現を使い、ALT・JTEとコミュニケーションを図る児童が増えた。
- ALT・JTEの話す英語を理解し、指示に従って動くことができるようになった。

<課題・対応策>

- 掲示物の工夫（視覚的に英語に触れさせる工夫）が必要である。
- 基本的なあいさつや自己紹介、曜日・天気等に個人差が見られる。朝の会や帰りの会など普段の学校生活の中で英語に触れる機会を増やし、自信を持たせるようにさせたい。
- 積極的に発表する児童が少なく、日付・曜日・天気等の質問に一人になるとこたえられない児童がいる。ペア学習やグループ学習などを取り入れ、自信をもって発話できる環境を作っていきたい。